

## 第6次総合振興計画策定委員会 多様なアイデアを計画案に



仕事を終えた委員が集まるため会議は夕刻から。広い会場で感染症対策を行いながらの開催です

第6次総合振興計画の策定が進められています。5月20日には、ビレッジハウスで、5回目の委員会が開催され、4つの部会が練ってきた施策のアイデアを、どのように計画案に反映するかなどについて、活発な協議が行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3月以降の各部会は、インターネット回線を使ったりリモート会議なども取り入れて継続してきました。今後、村民の皆さんに計画案を見ていただく「中間報告」も、集会の形を避け、郵送などの方法を検討しています。

## 生活支援ワゴンの運行が スタートしました

村では、4月6日から、村社会福祉協議会に委託し、買い物などに無料で利用できる相乗りのワゴン車を運行しています。

運行日は、月曜日から金曜日（祝祭日を除く）で、利用日2日前までの予約が必要です。買い物の他、いいいてクリニック、役場、金融機関、サポートセンターつながっぺなどへの移動に利用できます。なお、川俣町への買い物は水曜日と金曜日、いいいてクリニックへの送迎は火曜日と木曜日となっています。



写真は買い物利用の様子。予約やお問い合わせは村社会福祉協議会（☎0244-26-5207）まで

## 村婦人会のボランティア 交流センターの美化活動



この日は18人が参加。花壇の雑草をていねいに抜いていただきました。ありがとうございました

5月22日、飯舘村婦人会（長谷川花子会長／前田）が、交流センター「ふれ愛館」の前庭で美化活動を行いました。婦人会は、全村避難で会員が減少し、解散が検討された時期もありましたが、現在も54人が会員として活動しており、新規会員も募集中です。「これまで続けてきた婦人会をなくしたくなかった」と長谷川会長。「時間のある時に参加してもらいながら、村のお手伝いを続けていきたい」と笑顔を見せます。美化活動も和やかに、手際よく進めていただきました。

## 「飯舘村ライスセンター」 安全祈願祭を行いました

4月30日、「飯舘村ライスセンター」新築工事の安全祈願祭が、深谷地区の現地で行われました。

ライスセンターで、収穫したもみの乾燥を行い、自動ラック式低温倉庫で、コンピューター制御による玄米の在庫管理を行います。

施設は令和2年度末までに完成し、令和3年度の米の作付け・収穫に合わせて稼働する予定です。完成後の施設の管理・運営は、JAふくしま未来が行います。



関係者を前にあいさつする菅野村長。安全祈願祭も感染症対策を行いながら実施されました

## 菊地昇さん 栄えある受章 消防功績に藍綬褒章



さまざまな活動を続けてきた陰には「家族の支えもあった」と菊地さん。実直なお人柄が伝わります

4月28日付けで政府が発表した春の褒章で、公共の利益に貢献した人に贈られる藍綬褒章に、菊地昇さん（蕨平）が選ばれました。菊地さんは、昭和52年に飯舘村消防団に入団し、予防消防のパトロールや広報活動、ポンプ操法大会などに活躍。震災直後の避難者誘導にも力を尽くしました。平成29年からは第二分団長を務めています。菊地さんは「長い間にはいろいろな経験があった」と活動を振り返り、「団員に恵まれました。皆に感謝しています」と思いを語っていました。

## 固定資産評価審査委員会 委員に委嘱状を交付しました

5月1日、村役場で、固定資産評価審査委員会の委員に対する委嘱状交付式が行われました。

委員は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査などを行います。また、そうした審査や決定を、中立的な立場から行えるよう、委員は住民から選任されます。

今回委嘱を受けたのは、渡邊守男さん（小宮）と山田よし子さん（八木沢・芦原）で、共に再任となります。任期は法律の定めるところにより3年間となります。どうぞよろしくお願いいたします。



村役場で行われた交付式。菅野村長が、渡邊さん（左）と山田さん（右）に委嘱状を交付しました